



制限時間内で生徒が課題に取り組んだ

電気組後援

# 電気工事の技術向上

## 第12回コンテストを開催



星野委員長

第12回群馬県電気工事コンテストが7月31日、県立藤岡工業高で開催された。群馬県工業部が実行・運営、群馬県電気工事工業組合(小谷野一彦理事長)が後援した。「電気工事は地味かもしれないが重要。人間の生活を支えるのに、安全に、快活を豊かに、適にすることを支えるのが電気技術者の育成を目的とする。県内の各校を十分に発揮してほしい」と呼び掛けた。小谷野理事長は皆さんには将来、



小谷野理事長

電気組

# キャラバン隊がPR

## 電気の安全使用を訴える



小谷野理事長

群馬県電気工事工業組合(小谷野一彦理事長)

は、白、電気の安全使用と節電などをPRするキャラバン隊の出発式を開催した。会場となった県庁昭和庁舎には、広報車3台と、同組合員、県庁職員



萩本管理監

ら総勢50人が集まった。小谷野理事長は趣意の表明を行った。萩本管理監は「水や電気は国民生活に最も大切なライフライ

ン。安全で安定的に使用できることが重要。皆さまの心強い活動のおかげで県民は安全に電気を使用することができると思う」と、活動の重要性を強調した。その後、キャラバン隊は高崎市、安中市、富岡市、藤岡市などの各市役所を巡回。活動を広く県民にPRした。



キャラバン隊

がけがに気を付け、落ちて

いてしっかり取り組んでほしい。これまで指導してきた先輩先生にも敬意を表したい」とあいさつした。前橋工業高、高崎工業高、桐生工業高、伊勢崎工業高、太田工業高、渋川工業高、藤岡工業高、教育研究会電気工事コンテストに出場する。人が参加。制限時間内に与えられた課題に取り組んだ。高崎工業高の2人が優勝、準優勝に輝いた。優勝者と準優勝者は、今月27日に神奈川県で開かれる関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテストに出場する。